

課題12事例

to berry farm

地域事業者と連携した商品開発

2020年に「北欧の風 道の駅とうべつ」横の敷地に開園したイチゴ農園が、新型コロナウイルス禍の中で奮闘している。当初計画していたイチゴ狩り体験は感染防止のため見送ったが、道の駅で販売するパックや加工品のドリンクは根強い人気を獲得している。



ポイント

- 道の駅に隣接した農園
- 地域事業者と連携した商品開発
- 情報通信技術 (ICT) のノウハウを活用した通年収穫

背景

環境エネルギー等の設備系電気事業を全国展開している加茂川啓明電機（本社・大阪府吹田市）。農業、畜産分野のハウス・畜舎の空調などアグリビジネスも手掛けており、これらの技術を利用して観光農園に取り組むことにした。2019年12月にはプレオープンし、2020年3月から一般客を受け入れて道の駅とセットにした観光集積をアピールする予定だったが新型コロナウイルスの影響を受け、イチゴ狩り体験は見送ることになった。一方で栽培しているいちごは、道の駅での販売や加工品の開発を進めている。

取組内容

- 2020年7月「道の駅とうべつ」、「ふれあい倉庫」にていちごの販売を開始
- 合同会社ティー・デザインとのコラボ商品を道の駅とうべつで販売
 - ・おみやあいす
 - ・ココのある豆乳アイスとよつぼしいちごとコラボ頂いたアイスクリーム
- 藤澤製菓様とのコラボ商品を道の駅とうべつで販売
 - ・いちごメロンパン
 - ・いちごパイ
 - いちごメロンパンといちごパイによつぼしいちごをたっぷり使った商品
- 一久 大福堂とのコラボ商品を道の駅とうべつで販売
 - ・いちごどら焼き
 - ・いちごかき氷
 - ・いちご大福
 - よつぼしいちごを使った上品で豊かな味わいのどら焼きとかき氷
- 道の駅とうべつのオリジナル商品
 - ・当別産いちごの甘酒
 - 当別町産のお米ななつぼしを使用した甘酒とよつぼしいちごの甘酒
- ミニパック、贈答用パックの販売を開始
- 1か月限定で農園横のキッチンカーにてシェイクの販売を開始
- 「よつぼし冷凍いちご」を道の駅とうべつにて販売

商品開発と並行し、ハウスではコロナ感染対策を施し、旅行会社によるいちご狩りバスツアーの商品化も行っている。

